

新潟県立がんセンター新潟病院研究部

◇◆ 院内実施検査項目および基準範囲 ◆◇

2025 年 4 月 1 日改訂

検体採取マニュアル 第3版からの抜粋

1. 検査項目（夜間・休日に検査できる項目には「※」印、ISO 管理外の項目には検査項目の後ろに「#」印）
 保存期間内の検体であっても、検査項目によっては追加を受けられない場合があります。
 遺伝子検査については症例ごとに提出条件が異なる為、委託検査項目を含めて記載しています。

(1) 生化学検査・免疫検査

① 生化学検査-1)

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
※TP	6.6 - 8.1 g/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ビュレット法	関東化学	2 週間
※ALB	4.1 - 5.1 g/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	BCP 改良法	関東化学	2 週間
※A/G	1.32 - 2.23	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ビュレット法、BCP 改良法	関東化学	2 週間
※AST	13 - 30 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※ALT	♂ 10 - 42 U/L ♀ 7 - 23 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※LDH	124 - 222 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※ALP	38 - 113 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※T-Bil	0.4 - 1.5 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	酵素法	PHC 株式会社	2 週間
※D-Bil	0.0 - 0.2 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	酵素法	PHC 株式会社	2 週間
※γ-GTP	♂ 13 - 64 U/L ♀ 9 - 32 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※CHE	♂ 240 - 486 U/L ♀ 201 - 421 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※CK	♂ 59 - 248 U/L ♀ 41 - 153 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	2 週間
※総コレステロール	142 - 248 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	コレステロール酸化酵素法	ミリスメディカル	2 週間
※中性脂肪	150 mg/dL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	FG 消去酵素法	ミリスメディカル	2 週間
※HDL コレステロール	40 mg/dL 以上	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	選択的抑制法	ミリスメディカル	2 週間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
※LDL コレステロール	139 mg/dL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	選択的可溶化法	ミリスメディカル	2 週間
※BUN	8 - 20 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	アンモニア消去法	ニットボー	2 週間
※クレアチニン	♂ 0.65 - 1.07 mg/dL ♀ 0.46 - 0.79 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	酵素法	ニットボー	2 週間
※尿酸	♂ 3.7 - 7.8 mg/dL ♀ 2.6 - 5.5 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ウリカーゼ POD 法	ミリスメディカル	2 週間
※Ca	8.8 - 10.1 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	CPZⅢ法	PHC 株式会社	2 週間
※IP	2.7 - 4.6 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	酵素法	ミリスメディカル	2 週間
※Fe	40 - 188 µg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ニトロソ PSAP 法	シテスト	2 週間
※Na	138 - 145 mmol/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	15 分	選択的電極法(希釈)	A&T	2 週間
※K	3.6 - 4.8 mmol/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	15 分	選択的電極法(希釈)	A&T	2 週間
※Cl	101 - 108 mmol/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	15 分	選択的電極法(希釈)	A&T	2 週間
※AMY	44 - 132 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
※CRP	0.00 - 0.14 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ラテックス免疫比濁法	デノン	2 週間
※RF	15I U/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ラテックス免疫比濁法	ニットボー	2 週間
※抗マイコプラズマ 抗体	40 倍未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	3 時間	PA 法	富士レビオ	2 週間
※IgG	861 - 1747 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	TIA 法	ニットボー	2 週間
※IgA	93 - 393 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	TIA 法	ニットボー	2 週間
※IgM	♂ 33 - 183 mg/dL ♀ 50 - 269 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	TIA 法	ニットボー	2 週間
※シタチン C	0.4 - 0.9 mg/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ラテックス免疫比濁法	PHC 株式会社	2 週間
※NH ₃	75 µg/dL 以下	ペリソエクト II EDTA-2Na 青 VP-DK052KM60	EDTA-2K	全血 0.2 mL	15 分	試験紙法(比色法)	アークレイ	なし
※リパーゼ	13-55 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	合成基質比色法	シテスト	2 週間

② 生化学検査-2)

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
※P-AMY	16-52 U/L	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	免疫阻害法	関東化学	2 週間
※ERCP1AMY		青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
※ERCP2AMY		青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
※ERCP3AMY		青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
※ERCP4AMY		青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
※γ グロブリン	22-40 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	TIA 法	ニッポー	2 週間
※α ガルクトン	0.5 ng/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間
※Mg	1.7-2.6 mg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	酵素法	ニッポー	2 週間
※Zn	80-130 μg/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	5-Br-PAPS 法	シノテスト	2 週間
※RPR	1.0 R.U. 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	ラテックス免疫比濁法	シマ研究所	2 週間
※トロポニン I	26.2pg/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	45 分	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間
※血液ガス		テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分		アイ・エル・ジャパン	なし
PH	7.35-7.45	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
PCO ₂	♂ 35 - 48 mmHg ♀ 32 - 45 mmHg	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
PO ₂	83-108 mmHg	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
BP		テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分			
HCO ₃	21-28 mmol/L	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
BE	-2.0 - 3.0 mmol/L	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
tCO ₂	19.0 - 24.0 mmol/L	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
tHb	♂ 12.6 - 17.4 g/dL ♀ 11.7 - 16.1 g/dL	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
Hct	♂ 40 - 50 %	テルモ シュアシールド プレザパック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
	♀ 37 - 47 %							
O ₂ Hb	90.0 - 95.0 %	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法	アイ・エル・ジヤパン	なし
COHb	3.0 %以下	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
MetHb	1.5 %以下	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
HHb	1.0 - 5.0 %	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
sO ₂	94.0 - 98.0 %	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
O ₂ CAP		テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
ctO ₂		テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	吸光度法		
Na	136 - 145 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
K	3.5 - 5.1 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
Cl	98 - 107 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
AnGAP	10 - 20 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
Ca ⁺⁺	1.15 - 1.33 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
Ca 補正	1.15 - 1.33 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
GLU	65 - 95 mg/dL	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
Lac	0.36 - 0.75 mmol/L	テルモ シュアシールト [®] プレザ [®] パック	ヘパリン	全血 0.2 mL	5 分	選択的電極法		
※血糖	73 - 109 mg/dL	ヘパシ [®] エクト II VP-FH052K	NaF ヘパリン Na EDTA-2Na	全血 0.2 mL	10 分	選択的電極法 酵素法	A&T 積水	3 日
A1c(NGSP)	4.9-6.0 %	ヘパシ [®] エクト II VP-FH052K	NaF ヘパリン Na EDTA-2Na	全血 0.2 mL	10 分	HPLC 法	東ソー	3 日
血沈 30 分		常光 モレット [®] VS J06411	クエン酸ナトリウム	全血 1.28 mL	1 時間	ウェスター-グレン法	常光	1 日
血沈 1h	♂ 2 - 10 mm/h ♀ 3 - 15 mm/h	常光 モレット [®] VS J06411	クエン酸ナトリウム	全血 1.28 mL	1 時間	ウェスター-グレン法	常光	1 日
血沈 2h		常光 モレット [®] VS J06411	クエン酸ナトリウム	全血 1.28 mL	1 時間	ウェスター-グレン法	常光	1 日
※血清浸透圧	275-290 mOsm/	青色キャップ インセパ [®] ック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進	血清 0.5 mL	45 分	氷点降下法	アーグレイ	2 週間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
	kgH ₂ O		剤					
※eGFR (18歳以上)	60 以上	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進 剤	血清 0.2 mL	45 分	Cre、年齢、性別に よる計算値	ニットボー	2 週間
※CCr	70-130 mL/min	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進 剤	血清 0.2 mL 畜尿 0.2mL	45 分	Cre、尿量、体表面 積による計算値	ニットボー	2 週間
FIB-4 index	1.30 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487) 紫色キャップ ヘモグロビン 2.0mL(367846)	分離剤 凝固促進 剤 EDTA-2K	血清 0.2 mL 全血 2mL	45 分	AST, ALT, PLT, 年齢による計算値	関東化学 シスメックス	1 日

③ 尿生化学検査

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
尿糖定量(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	積水メディカル	2 週間
尿糖定量(蓄尿)	40-85 mg/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	積水メディカル	2 週間
尿蛋白定量(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	ビロロレット法	フジフィルム和光純薬	2 週間
尿蛋白定量(蓄尿)	20-120 mg/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	ビロロレット法	フジフィルム和光純薬	2 週間
尿蛋白/Cr 比	0.15 g/g・Cr 未満	尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	ビロロレット法 酵素法	フジフィルム和光純薬 ニットボー	2 週間
U-MTX		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	45 分	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間
尿 ALB(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	TIA 法	ニットボー	2 週間
尿 ALB(蓄尿)		蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	TIA 法	ニットボー	2 週間
補正 ALB(随時尿)	30 mg/g・Cr 未満	尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	TIA 法、酵素法	ニットボー	2 週間
※尿浸透圧(随時尿)	50-1300 mOsm/kgH ₂ O	尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	45 分	氷点降下法	アーレイ	2 週間
※尿浸透圧(蓄尿)		蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	45 分	氷点降下法	アーレイ	2 週間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
尿 Na(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
尿 Na(蓄尿)	125-250 mmol/L/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
尿 K(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
尿 K(蓄尿)	50-100 mmol/L/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
尿 Cl(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
尿 Cl(蓄尿)	70-250 mmol/L/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
尿 Ca(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	CPZⅢ法	PHC 株式会社	2 週間
尿 Ca(蓄尿)	0.1-0.2 g/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	CPZⅢ法	PHC 株式会社	2 週間
尿 IP(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	ミリスメディカル	2 週間
尿 IP(蓄尿)	0.4-0.8 g/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	ミリスメディカル	2 週間
尿 AMY (随時尿)	50-500 U/L	尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
尿 BUN(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	アンモニア消去法	ニットボー	2 週間
尿 BUN(蓄尿)	6.5-13.0 g/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	アンモニア消去法	ニットボー	2 週間
尿 UA(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	ウリカーゼ POD 法	ミリスメディカル	2 週間
尿 UA(蓄尿)	0.4-0.8 g/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	ウリカーゼ POD 法	ミリスメディカル	2 週間
尿 Cre(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	ニットボー	2 週間
尿 Cre(蓄尿)	0.5-1.5 g/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	ニットボー	2 週間
NAG (随時尿)	11.5 IU/L 以下	尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	MPT-NAG 法	ニットボー	2 週間
尿 Mg(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	ニットボー	2 週間
尿 Mg(蓄尿)	20.6-164.9 mg/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	酵素法	ニットボー	2 週間
尿 Zn(随時尿)		尿コップ (TMC カップ)	なし	0.2 mL	30 分	5-Br-PAPS 法	シナテスト	2 週間
尿 Zn(蓄尿)	300-700 μ g/day	蓄尿コップ (ハルカップ)	なし	0.2 mL	30 分	5-Br-PAPS 法	シナテスト	2 週間
尿 PH #		尿コップ (TMC カップ)	なし	5 mL	30 分	ガラス電極法	HORIBA	2 週間

④ 穿刺液生化学検査

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
胃液 Na		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	2 週間
胃液 K		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
胃液 Cl		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
胸水 TP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	ビュレット法	関東化学	2 週間
胸水 ALB		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	BCP 改良法	関東化学	
胸水 AST		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
胸水 ALT		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
胸水 LDH		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	
胸水 ALP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	
胸水 GGT		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
胸水 Na		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
胸水 K		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
胸水 Cl		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
胸水 AMY		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	
腹水 TP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	ビュレット法	関東化学	2 週間
腹水 ALB		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	BCP 改良法	関東化学	
腹水 AST		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
腹水 ALT		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
腹水 LDH		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	
腹水 ALP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	
腹水 GGT		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
腹水 Na		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
腹水 K		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬 メーカー	保存期間
腹水 Cl		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
腹水 AMY		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間
穿刺液 TP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	ビウレット法	関東化学	2 週間
穿刺液 ALB		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	BCP 改良法	関東化学	
穿刺液 AST		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
穿刺液 ALT		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
穿刺液 LDH		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	
穿刺液 ALP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	IFCC 標準化対応法	関東化学	
穿刺液 GGT		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	JSCC 標準化対応法	関東化学	
穿刺液 Na		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
穿刺液 K		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
穿刺液 Cl		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	15 分	選択の電極法(希釈)	A&T	
穿刺液 AMY		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	
トレーン AMY		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.2 mL	45 分	Et-G7-pNP 法	関東化学	2 週間

⑤ 免疫学的検査

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
HBs 抗原	0.05 IU/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間
HBs 抗体	10.00 mIU/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間
HBc 抗体	1.00 S/CO 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間
HCV 抗体	1.00 S/CO 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジャパン	2 週間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
			凝固促進剤					
HIV 抗原・抗体	1.00 S/CO 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
β -D グルコン	10.0 pg/mL 未満	赤色キャップ EG チューブ II 2mL(190116F)	ヘパリン Na	血漿 0.5 mL	1 時間	発色合成 基質法	島津	1 日
CEA	5.0 ng/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
AFP	10.0 ng/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
CA19-9	37.0 U/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
CA125	35.0 U/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
SCC	2.0 ng/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
CA15-3	31.3 U/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
NCC-ST-439	49 才以下女性 7.0 U/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLEIA 法	富士ビオ	2 週間
	50 才以上女性及び男性 4.5 U/mL 以下							
NSE	11.1 ng/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
PIVKA II	40.0 mAU/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
sIL2R	204 U/mL～587 U/mL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤	血清 0.2 mL	1 時間	ラテックス免疫比濁法	積水メディカル	2 週間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
			凝固促進剤					
TSH	0.35 μ IU/mL～4.94 μ IU/mL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
F-T3	1.68 pg/mL～3.67 pg/mL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
F-T4	0.70 ng/dL～1.48 ng/dL	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
PSA	4.0 ng/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
F-PSA		青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
F/T 比		青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
サイログロブリン	3.7 ng/mL～64.2 ng/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
※NT-proBNP	75 才未満：125 pg/mL 以下 75 才以上：450 pg/mL 以下	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
TgAb	4.1 IU/mL 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
TRAb	3.1 IU/L 未満	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
※クロストリン		ベレジエクト II EDTA-2K 黄色 VP-D052KN	EDTA-2K	全血 0.4 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
※クロリムス		ベレジエクト II EDTA-2K 黄色 VP-D052KN	EDTA-2K	全血 0.4 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
※MTX		ベレジエクト II EDTA-2K 黄色 VP-D052KN	EDTA-2K	血漿 0.4 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
コルチゾール	3.7 μ g/dL ～19.4 μ g/dL (午前)	青色キャップ インセパック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
ProGRP	81.0 pg/mL 未満	ベッジメント II EDTA-2Na ムラサキ VP-NA050K	EDTA-2Na	血漿 0.2 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
フェリチン	男性 25.8 ng/mL～280.5 ng/mL 女性 4.2 ng/mL～136.7 ng/mL	青色キャップ インセック II 8mL(473487)	分離剤 凝固促進剤	血清 0.2 mL	1 時間	CLEIA 法	富士ビオ	2 週間

⑥ 穿刺液免疫検査

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
髄液 CEA		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
髄液 AFP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
髄液 C19-9		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
髄液 CA125		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
髄液 CA15-3		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
髄液 SCC		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
髄液 NSE		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 CEA		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
胸水 AFP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 CA19-9		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 CA125		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 SCC		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 CA15-3		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 NSE		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
胸水 IL2R		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	テックス免疫比濁法	積水メディカル	
腹水 CEA		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
腹水 AFP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
腹水 CA19-9		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
腹水 CA125		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
腹水 SCC		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
腹水 CA15-3		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
腹水 NSE		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
腹水 IL2R		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	ラテックス免疫比濁法	積水メディカル	2 週間
穿刺液 CEA		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	2 週間
穿刺液 AFP		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
穿刺液 CA19-9		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
穿刺液 CA125		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
穿刺液 SCC		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
穿刺液 CA15-3		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
穿刺液 NSE		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	CLIA 法	アボットジヤパン	
穿刺液 IL2R		滅菌 KR スクリューキャップ 1204C000E-10	なし	0.5 mL	1 時間	ラテックス免疫比濁法	積水メディカル	

(2) 血液検査

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量 (全血)	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
※WBC	3.3-8.6 ×10 ³ /μL	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL	10 分	フローサイトメリー法	シスメックス	提出日を含めて 1 日
※RBC	♂ 4.35 - 5.55 × 10 ⁶ /μL	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL		シースフロー DS 検出法		
	♀ 3.86 - 4.92 × 10 ⁶ /μL							
※Hb	♂ 13.7 - 16.8 g/dL	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL		SLS-ヘモグロビン法		
	♀ 11.6 - 14.8 g/dL							
※Ht	♂ 40.7 - 50.1 %	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL		赤血球パルス波高値検出法		
	♀ 35.1 - 44.4 %							
※MCV	83.6 - 98.2 fL	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL				
※MCH	27.5 - 33.2 pg	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL				
※MCHC	31.7 - 35.3 g/dL	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL				
※Plt	158-348 ×10 ³ /μL	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL	シースフロー DS 検出法			
※Ret	0.5-2.0 %	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL	フローサイトメリー法			
血液像	st:0.5-6.5 %	紫色キャップ BD バキューティナ 2.0mL	EDTA-2K	2 mL	60 分	フローサイトメリー法	シスメックス	5 年
	seg:38.0-74.0 %							
	Baso:0-2.5 %							
	Eosino:0-8.5 %							
	Mono:2.0-10.0 %							
	Lymph:16.5-49.5 %					メイ・ギムザ染色による鏡検	メルク	
骨髓像					1 週間	メイ・ギムザ染色による鏡検	メルク	20 年
出血時間	1 分-5 分	なし	なし			デューク法		なし
※APTT	25.1-37.4 秒	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL 積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	30 分	凝固時間法	PHC 株式会社	4 時間

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量 (全血)	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
※PT	11.0-13.4 秒 80-100 %	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL:積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	30 分	凝固時間法	PHC 株式会社	4 時間
※Fbg	200-400 mg/dL	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL:積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	30 分	凝固時間法		
※ATIII	83 -118 %	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL:積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	30 分	合成基質法		
※FDP	5.0 µg/mL 未満	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL:積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	30 分	ラテックス免疫比濁法		
※Dダイマー	1.0 µg/mL 未満	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL:積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	30 分	ラテックス免疫比濁法		
凝固因子インヒビター 一定性(クロスリンク 試験)		凝固用試験管 (NP-CW0457-1) 4.5mL:ニプロ	3.2%クエン酸ナトリウム	4.5 mL	当日中	凝固時間法		
凝固因子 (第Ⅷ因子)	60~140%	凝固用試験管 (インセパックII-W) 1.8mL:積水メディカル	3.2%クエン酸ナトリウム	1.8 mL	1 時間	凝固一段法		
T 細胞・B 細胞 百分率	T 細胞百分率 66~89% B 細胞百分率 4~13% CD4 23~52%, CD8 22~54% CD4/CD8 比 0.4~2.3	紫ベリジェクトII 5.0 mL	EDTA-2Na	5.0 mL	1~2 日	フローサイトメリー法	日本ベクトン・デイクソン	1 週間
造血器腫瘍細胞 抗原検査		紫ベリジェクトII 5.0 mL or 細胞保存液入り指定容器	EDTA-2Na	1.0~5.0 mL	1~2 日	フローサイトメリー法	日本ベクトン・デイクソン	1 週間
染色体検査 (X/Y 染色体)		緑ベリジェクトII 5.0 mL or 細胞保存液入り指定容器	ヘパリン Na	1.0~5.0 mL	1 週間程度	FISH 法	アボットジヤパン株式会社	カルナ液 凍結 1 年

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要 量 (全血)	報告時 間	測定法	試薬メーカー	保存期間
染色体検査 (Ph 染色体 BCR/ABL)		緑ベリプロジェクトII 5.0 mL or 細胞保存液入り指定容器	ヘパリン Na	1.0~5.0 mL	1 週間程 度	FISH 法	アボットジャパン 株式会社	

(3) 輸血検査

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量 (全血)	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
※ABO・RhD 血液型	A・B・O・AB 型 RhD 陽性	ベリジェクトⅡ真空採血管 2mL (蓋:ピンク)	EDTA-2K	2 mL	30 分	ビーズカラム遠心凝集法 (必要時:試験管法)	オーツ クリニカル ダイアグノスティックス 株式会社	2 週間
Rh(その他の因子) 血液型		ベリジェクトⅡ真空採血管 2mL (蓋:ピンク色)	EDTA-2K	2mL	120 分	試験管法	オーツ クリニカル ダイアグノスティックス 株式会社	2 週間
※直接抗グロブリン 試験	陰性	ベリジェクトⅡ真空採血管 7mL (蓋:紫色)	EDTA-2Na	7 mL	30 分	試験管法	オーツ クリニカル ダイアグノスティックス 株式会社 株式会社 イムコア 株式会社 カイノス	1 週間
※間接抗グロブリン 試験	陰性	ベリジェクトⅡ真空採血管 7mL (蓋:紫色)	EDTA-2Na	7 mL	60 分	ビーズカラム遠心凝集法 (必要時:試験管法)	オーツ クリニカル ダイアグノスティックス 株式会社	1 週間
※不規則抗体 検査	陰性	ベリジェクトⅡ真空採血管 7mL (蓋:黄色)	EDTA-2Na	7 mL	60 分	ビーズカラム遠心凝集法 (必要時:試験管法)	オーツ クリニカル ダイアグノスティックス 株式会社	1 週間
※交差適合試験	適合	ベリジェクトⅡ真空採血管 7mL (蓋:黄色)	EDTA-2Na	7 mL	60 分	ビーズカラム遠心凝集法 (必要時:試験管法)	オーツ クリニカル ダイアグノスティックス 株式会社	1 週間

(4) 細菌検査

検査項目	基準範囲		容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
塗抹検査	検体材料による		滅菌喀痰容器、気管吸引用キット、滅菌尿コップ、滅菌スリッパ、カルチャースワブプラス チョール、カルチャースワブプラス シングル、滅菌シャーレ、ケンキポーターⅡ	アミーズ 培地 インジケーター付寒天	検体材料による	60 分	グラム染色 (Bartholomew)	富士フィルム 和光純薬 株式会社	1 週間
培養同定・ 感受性	検体材料による		滅菌喀痰容器、気管吸引用キット、滅菌尿コップ、滅菌スリッパ、カルチャースワブプラス チョール、カルチャースワブプラス シングル、滅菌シャーレ、ケンキポーターⅡ	アミーズ 培地 インジケーター付寒天	検体材料による	3 日~1 週間	BD フェニックス M50	BD	1 週間
嫌気培養	検体材料による		滅菌喀痰容器、気管吸引用キット、滅菌尿コップ、滅菌スリッパ、カルチャースワブプラス チョール、カルチャースワブプラス シングル、滅菌シャーレ、ケンキポーターⅡ	アミーズ 培地 インジケーター付寒天	検体材料による	1 週間	グーヤ嫌気パック	PHC 株式会社	1 週間
呼吸器	喀痰・ 吸引痰	口腔内常在菌 のみ	滅菌喀痰容器、気管吸引用キット	なし	1 mL 以上(出 来るだけ多 く)	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、関 東化学	1 週間
	咽頭粘液・ 鼻腔	口腔内常在菌 のみ	カルチャースワブプラス チョール	活性炭入りアミ ーズ 培地	スワブ 1 本	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、関 東化学	1 週間
	気管支洗浄液	培養陰性	滅菌スリッパ	なし	1 mL 以上	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、関 東化学	1 週間
	口腔内・舌	口腔内常在菌 のみ	カルチャースワブプラス チョール	活性炭入りアミ ーズ 培地	スワブ 1 本	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B,MRSA,カンジダ 培地	栄研、島 津、BD、関 東化学	1 週間
消化器	便	腸管内常在菌	カルチャースワブプラス シングル、滅菌尿	アミーズ 培地	母指頭大程	3 日~1 週間	BA,BTB,STEC/S	栄研、島	1 週間

検査項目	基準範囲		容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
		のみ	コップ		度 (3～5 g)		S,TCBS,ｽﾎｰﾑ,MRSA 培地	津、関東化学、BD	
	胆汁	培養陰性	滅菌ｽﾎﾟｯﾂ、ｹﾝｷﾞﾎｰﾀｰⅡ	ｲﾝｼﾞｬｹｰﾀｰ付寒天	1mL 以上	3 日～1 週間	BA,BTB,ﾌﾞﾚｲﾄﾞ,MRSA 培地	栄研、BD、極東製薬、関東化学	1 週間
	大腸生検	腸管内常在菌のみ	滅菌ｽﾎﾟｯﾂ	なし	1 片以上 (2、3mm以上が望ましい)	3 日～1 週間	BA,BTB,STEC/S,ｽﾎｰﾑ,MRSA 培地	栄研、BD、関東化学	1 週間
泌尿生殖器	尿	好気性菌(-)	滅菌尿コップ	なし	1 mL 以上	3 日～1 週間	BA,BTB,MRSA 培地	栄研、BD、関東化学	1 週間
	膣ｶﾝｼﾞﾀﾞ	Candida(-)	カルチャースワブプラス チョコール	活性炭入りアミーズ培地	ｽﾜﾌﾞ 1 本	3 日～5 日	ｶﾝｼﾞﾀﾞ 培地	関東化学	1 週間
	膣分泌物	培養陰性又は常在菌のみ	カルチャースワブプラス チョコール	活性炭入りアミーズ培地	ｽﾜﾌﾞ 1 本	3 日～1 週間	BA,Chocolate,BT B,MRSA,ｶﾝｼﾞﾀﾞ 培地	栄研、島津、BD、関東化学	1 週間
血液・穿刺液	血液	培養陰性	FAPLus 培養ﾎﾞﾄﾙ(好気用),SN 培養ﾎﾞﾄﾙ(嫌気用)、PFPlus 培養ﾎﾞﾄﾙ(小児用)	SN:ﾄﾘﾌﾞｹｰｽｿｲﾌﾞｲｼﾝ、FAPLus:ﾍﾟﾌﾟﾄﾝ等、吸着ﾎﾞﾘﾏｰﾋﾞｰｽﾞ、PFPlus:ﾍﾟﾌﾟﾄﾝ等、吸着ﾎﾞﾘﾏｰﾋﾞｰｽﾞ	成人:～10 mL 小児:～4 mL	1 週間	ﾊﾞｸﾂﾏｲｸﾞ 3D	ﾋﾞｵｵﾘｴﾝｼﾞｬﾊﾟﾝ	1 週間
	髄液	培養陰性	滅菌ｽﾎﾟｯﾂ、ｹﾝｷﾞﾎｰﾀｰⅡ	ｲﾝｼﾞｬｹｰﾀｰ付寒天	1mL 以上が望ましい	3 日～1 週間	BA,Chocolate,BT B,ﾌﾞﾚｲﾄﾞ,ﾌｵｸﾞﾘｺﾚｰﾄ,MRSA 培地	栄研、島津、BD、極東製薬、関東化学	1 週間

検査項目	基準範囲		容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
	腹水・胸水 ドレーン排液	培養陰性	滅菌スリッパ、ケンボーターII	インジケータ付寒天	1 mL 以上が 望ましい	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B, プルセラ,チカグ レート,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、極 東製薬、関 東化学	1 週間
	関節液	培養陰性	滅菌スリッパ、ケンボーターII	インジケータ付寒天	1 mL 以上が 望ましい	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B, プルセラ,チカグ レート,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、極 東製薬、関 東化学	1 週間
その他	膿	培養陰性	カルチャースワブプラス チョコロール、滅菌スリッパ、ケンボーターII	活性炭入りアミ ズ培地 インジケータ付寒天	スワブ 1 本 (多 く取れる場 合、滅菌容器 にて 1ml 以 上)	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B, プルセラ,チカグ レート,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、極 東製薬、関 東化学	1 週間
	組織	培養陰性	滅菌スリッパ、滅菌シャーレ、	インジケータ付寒天	1 片以上 (2、 3mm以上が 望ましい)	3 日~1 週間	BA,Chocolate,BT B, プルセラ,チカグ レート,MRSA 培地	栄研、島 津、BD、極 東製薬、関 東化学	1 週間
	CV カテーテル先端 カテーテル先端 ドレーン先端	培養陰性	滅菌スリッパ、ケンボーターII	インジケータ付寒天	先端部分を 5cm 程度	3 日~1 週間	BA,チカグレート培 地	栄研、BD	1 週間
	胃生検 (H.pylori)	培養陰性	シートチューブ HP ‘栄研’	チカグレート培地 を基礎としたウ 血清、ヘシ、マジ ワおよび選択剤	1 片以上 (2、 3mm以上が 望ましい)	4 日~1 週間	ヘリバクターピロリ尿 素培地	島津、栄研	1 週間
	簡易培養 (MRSA のみ)	MRSA(-)	滅菌喀痰容器、気管吸引用キット、 滅菌尿コップ、滅菌スリッパ、カルチャース	アミズ培地(活性 炭入りも含む)	検体材料に よる	2 日~5 日	MRSA 培地	関東化学	1 週間

検査項目	基準範囲		容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
			ブドウ球菌、腸球菌、カルチス菌、ブドウ球菌、滅菌シャーレ						
ペロ毒素	ペロ毒素(-)		該当なし	なし	大腸菌として分離された菌株	3 日	免疫クロマトグラフィー	タニタ	1 週間
※尿中肺炎球菌莢膜抗原	陰性		尿カップ	なし	1 mL 以上	30 分	免疫クロマトグラフィー	アボット・イグノスチクス・ディアル	検査当日
※尿中レジオネラ抗原	陰性		尿カップ	なし	1 mL 以上	30 分	免疫クロマトグラフィー	アボット・イグノスチクス・ディアル	検査当日
※インフルエンザウイルス抗原	陰性		専用綿棒	なし	専用綿棒 1 本(綿球全体に材料が付着する程度)	20 分	免疫クロマトグラフィー	ミズホメディ	検査当日
※RSウイルス抗原	陰性		専用綿棒	なし	専用綿棒 1 本(綿球全体に材料が付着する程度)	<u>20 分</u>	免疫クロマトグラフィー	タニタ	検査当日
※A 群溶連菌	陰性		専用綿棒	なし	専用綿棒 1 本(綿球全体に材料が付着する程度)	20 分	免疫クロマトグラフィー	アボット・イグノスチクス・ディアル	検査当日
※咽頭アデノウイルス抗原	陰性		専用綿棒	なし	専用綿棒 1 本(綿球全体に材料が付着する程度)	20 分	免疫クロマトグラフィー	タニタ	検査当日

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
				着する程度)				
※ヒトメタニューモウイルス抗原	陰性	専用綿棒	なし	専用綿棒1本(綿球全体に材料が附着する程度)	20分	免疫クロマトグラフィー	タクソ	検査当日
※マイコプラズマ抗原	陰性	専用綿棒	なし	専用綿棒1本(綿球全体に材料が附着する程度)	60分	免疫クロマトグラフィー	極東製薬	検査当日
※便CDトキシン	GDH:陰性、トキシン:陰性	尿カップ	なし	母指頭大程度(3～5g)	25分	免疫クロマトグラフィー	ミズホメディ	検査当日
※ノロウイルス抗原	陰性	尿カップ	なし	母指頭大程度(3～5g)	30分	免疫クロマトグラフィー	デンコ生検	検査当日
※便ロタウイルス・アデノウイルス抗原	陰性	尿カップ	なし	母指頭大程度(3～5g)	25分	免疫クロマトグラフィー	積水メディカル	検査当日
便中ヒトロタウイルス抗原	陰性	採取キット	アジ化ナトリウム	採便棒先端の溝全てが便で埋まるくらい	25分	免疫クロマトグラフィー	BD	検査当日
※水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	陰性	専用綿棒	なし	専用綿棒1本(綿球全体に材料が附着する程度)	25分	免疫クロマトグラフィー	マルボ	検査当日
※単純ヘルペスウイルス抗原	陰性	専用綿棒	なし	専用綿棒1本(綿球全体に材料が付	25分	免疫クロマトグラフィー	マルボ	検査当日

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
				着する程度)				
※COVID-19 抗原+インフルエンザウイルス抗原	陰性	専用綿棒	なし	専用綿棒1本(綿球全体に材料が付着する程度)	30分	免疫クロマトグラフィー	ミズホメディ	検査当日
抗酸菌塗抹検査	陰性	滅菌喀痰容器、気管吸引用キット、滅菌尿コップ、滅菌スワブ、滅菌シャーレ	なし	検体材料による	90分	チールネルゼン染色	武藤化学	3週間
※COVID-19 迅速PCR ①ID-NOW ②Smart gene	陰性	専用綿棒	①テストカートリッジ : SARS-CoV-2 テンプレート 1,2、 SARS-CoV-2 モレキュラービーズ、切断酵素、DNA ポリメラーゼ、逆転写酵素、dNTPs ②テストカートリッジ : 前処理試薬、酵素、基質、プライマー、Qプローブ 抽出液 : 界面活性剤及びポリソルベートを含む緩衝液	専用綿棒1本	①20分 ②2時間	①NEAR 法 ②RT-PCR 法	①アボットダイアグノスティクス ②ミズホメディ	検査当日

(5) 一般

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
※尿比重	1.005-1.030	尿コップ (TMC カップ)	なし	2 mL	60 分	屈折率法 (平日日中) 化学的比重測定法 (夜間休日)	栄研	検査当日
※尿 pH(試験紙法)	4.5-7.5	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	pH 指示薬法	栄研	
尿色調 #	淡黄	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	RBGIR 信号機械法	栄研	
尿濁度 #	清	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	散乱光測定法	栄研	
※尿糖定性(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	酵素法	栄研	
※尿蛋白定性(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	pH 指示薬の蛋白誤差法	栄研	
※尿ケトン体(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	アルカリロブリン法	栄研	
※尿ビリルビン(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	アゾカップリング法	栄研	
※尿白血球(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	白血球エステラーゼ活性測定法	栄研	
※尿亜硝酸塩(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	グリース法	栄研	
※尿ウレリノーゲン(試験紙法)	(+/-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	アゾカップリング法	栄研	
※尿潜血(試験紙法)	(-)	尿コップ (TMC カップ)	なし		60 分	ヘモグロビンのペルオキシダーゼ作用	栄研	
※尿沈渣	赤血球 4 個以下/HPF 白血球 4 個以下/HPF	尿コップ (TMC カップ)	なし	10 mL	60 分	フローサイトメリー法 目視鏡検法	シスメックス 武蔵化学	検査当日
便潜血	(-)	採便容器 E	なし		60 分	金コロイド比色法	富士フイルム和光純薬	検査当日
関節液白血球 #		滅菌試験管メッキ KR	なし	2 mL	60 分	鏡検法		2 週間
関節液ビリルビン #		滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	鏡検法		
関節液尿酸結晶 #		滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	鏡検法		
関節液赤血球、その他成分 #		滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	鏡検法		
胸水比重 #		滅菌試験管メッキ KR	なし	5 mL	60 分	屈折計		2 週間
胸水リバルン反応 #	(-)	滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	目視法		
胸水フィブリン析出 #	(-)	滅菌試験管メッキ KR	なし		1~2 日	目視法		
胸水蛋白定量 #		滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	ビロロロール法	富士フイルム和光純薬	
胸水糖定量 #		滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	酵素法	積水ケイカル	

検査項目	基準範囲	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	測定法	試薬メーカー	保存期間
胸水クロール #		滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	選択的電極法（希釈）	A&T	
腹水 Hb #		滅菌試験管メッキ KR	なし	5 mL	30 分	SLS-ヘモグロビン法	シスメックス	2 週間
※髄液比重	1.005-1.007	滅菌試験管メッキ KR	なし	2 mL	30 分	屈折法		2 週間
※髄液細胞数	5 個/μL 以下	滅菌試験管メッキ KR	なし		30 分	目視法		
※髄液蛋白定量	15-45 mg/dL	滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	ビロロレット法	富士フイルム和光純薬	
※髄液糖定量	50-75 mg/dL	滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	酵素法	積水メディカル	
※髄液クロール	120-130 mEq/L	滅菌試験管メッキ KR	なし		60 分	選択的電極法（希釈）	A&T	
妊娠反応	(-)	尿コップ（TMC カップ）	なし	1 mL	15 分	イムノクロマトグラフィー	持田製薬株式会社	1 日

(6) 病理検査

① 組織診検査

検査項目	検査材料	容器	添加剤	保存条件	採取・提出条件	報告時間	検査法	試薬メーカー	保存期間
手術	手術材料	検体の大きさに応じた密閉容器(タッパーなど)を使用	10%中性緩衝ホルマリン	室温	採取後、速やかにホルマリン入り容器に入れて下さい	1～2ヶ月	HE染色・特殊染色・免疫染色・遺伝子検査		作製ブロックは30年保存 標本は20年保存
生検	生検材料	ホルマリン容器(市販品)等 検体の大きさに応じた容器を使用	10%中性緩衝ホルマリン	室温	採取後、速やかにホルマリン入り容器に入れて下さい	1週間	HE染色・特殊染色・免疫染色・遺伝子検査	アジア器材	作製ブロックは30年保存 標本は20年保存
術中迅速組織診	組織検体	搬送容器に入れて提出してください	なし	室温	採取後速やかに提出して下さい 乾燥を防ぐ為、生食で濡らしたガーゼ等で覆ってください	当日	迅速HE染色		作製ブロックは30年保存。 標本は20年保存
術中センチネルリンパ節診断	リンパ節	鉛容器	なし	室温	採取後速やかに提出して下さい 乾燥を防ぐ為、生食で濡らしたガーゼ等で覆ってください	当日	OSNA法検査・迅速HE染色	シスマックス(OSNA法)	リンパ節可溶化液は-80℃で1年保存
標本診断(院外) ※組織診もしくは細胞診	スライド標本・ブロック等	なし	なし	室温		1週間	鏡検・HE染色・特殊染色・免疫染色・遺伝子検査		
セルブロック	体腔液等の液状検体	滅菌KRスクリュースピッツもしくは滅菌採水瓶コ500	なし	室温	依頼箋に文章でセルブロックを作製してほしい旨記載してください	1週間	HE染色・特殊染色・免疫染色・遺伝子検査		作製ブロックは30年保存 標本は20年保存

② 細胞診検査

検査項目	検査材料	容器	添加剤	保存条件	採取・提出条件	報告時間	検査法	試薬メーカー	保存期間
婦人科塗抹標本	塗抹標本	スライドガラスに直接塗抹	95%アルコール	室温	採取後、スライドガラスに塗抹し、速やかに95%アルコール固定液に入れてください	2週間	パパンニコフ染色	武藤 MICRO SLIDES スターフrostホイト	標本は20年保存
婦人科LBC	LBC	BD シュアパースパイル		室温	採取後、ブラシの先端を速やかにBD シュアパースパイルへ入れてください	2週間	パパンニコフ染色	日本ベクトン・ディッキンソン	
喀痰	喀痰	カクタンサンブレーL	サコマノ液	室温	内シールをはがし、喀痰喀出後、確実に蓋を閉め、20回程度左右に振ってください。蓄痰は3日間蓄痰してください	1週間	パパンニコフ染色	松波硝子工業	
気管支(鉗子スラング・キュレット・ブラシ)	擦過標本	スライドガラスに直接塗抹	95%アルコール	室温	採取後速やかに提出して下さい スライドガラスの塗抹した検体は、速やかに固定液に入れてください 迅速診断が必要であれば、提出時にその旨お伝えください	1週間	パパンニコフ染色 迅速パパンニコフ染色	マツナミ MAS コートスライドガラス	
気管支洗浄・BAL	洗浄液	先細スリット等	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1週間	パパンニコフ染色・ギムザ染色		
EBUS-TBNA	穿刺内容物	スライドガラスに直接塗抹		室温	事前に電話予約のうえ、検査開始時に電話連絡 内視鏡室にて迅速検査を行います	1週間	迅速PAP染色・パパンニコフ染色・ギムザ染色		
CTガイド下	組織洗浄液	PP遠沈管	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1週間	パパンニコフ染色	アジア器材	

検査項目	検査材料	容器	添加剤	保存条件	採取・提出条件	報告時間	検査法	試薬メーカー	保存期間
肺生検	針洗浄液	滅菌 KR スクリュースピッツ	生理食塩水	室温		1 週間		アジア器材	標本は 20 年保存
尿	自然尿	尿コップ		室温	中間尿 50 mL 程度を提出。採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色		
カテーテル尿	洗浄液	滅菌 KR スクリュースピッツ	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色	アジア器材	
腎盂洗浄・膀胱洗浄	洗浄液	滅菌 KR スクリュースピッツ	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色	アジア器材	
乳腺	穿刺内容物	先細スピッツ	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色	染瀬産業社	
甲状腺穿刺	穿刺内容物	スライドガラスに直接塗抹	95%アルコール	室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色	スターフrostスライドガラス	
	穿刺内容物	先細スピッツ	TACAS 液	室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	TACAS 液処理 ^パ パ・ニコロウ染色	MBL TACAS Ruby	
頭頸部外科・リンパ節穿刺液(唾液腺など含む)	穿刺内容物	先細スピッツ	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色・ギムザ染色	染瀬産業社	
体腔液	体腔液	滅菌 KR スクリュースピッツもしくは滅菌採水瓶 ^コ 500		室温	採取後速やかに提出して下さい。検体は 500ml の範囲内でできるだけ多い量を提出してください。	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色・ギムザ染色・MOC-31 染色・CEA 染色	アジア器材 栄研化学	
EUS-FNA	穿刺内容物	PS200cc ネジコップ	生理食塩水	室温	事前に電話予約のうえ、検査開始時に電話連絡 病理検査室にて迅速検査を行います	1 週間	迅速 PAP 染色・パ・パ・ニコロウ染色	アジア器材	
胆汁・膝液	胆汁・膝液	滅菌 KR スクリュースピッツ		氷中	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色	アジア器材	
脊髄液	脊髄液	滅菌 KR スクリュースピッツ		室温	採取後速やかに提出して下さい	1 週間	パ・パ・ニコロウ染色・ギムザ染色	アジア器材	

検査項目	検査材料	容器	添加剤	保存条件	採取・提出条件	報告時間	検査法	試薬メーカー	保存期間
							ザン染色		
腫瘍部穿刺液	穿刺内容物	先細スリット	生理食塩水	室温	採取後速やかに提出して下さい	1週間	パパンニコフ染色・ギムザ染色	染瀬産業社	
腫瘍部擦過	穿刺内容物 擦過標本	先細スリット	95%アルコール	室温	採取後速やかに提出して下さい	1週間	パパンニコフ染色・		
術中迅速細胞診	体腔液・洗浄液等	PP遠沈管	ヘパリン	室温	採取後速やかに提出して下さい。 フィブリンによる凝固を防ぐため、少量のヘパリンを添加してください	当日	迅速PAP染色・ギムザ染色・パパンニコフ染色	アシア器材	
術中迅速細胞診 (東医大針)	肺穿刺検体	東医大針(7本)をスリットに入れて提出	生理食塩水	室温	採取後、容器が倒れないよう試験管立てに立てて、輸送容器に入れ、速やかに提出して下さい	当日	迅速PAP染色		
※CMV	末梢血	紫ベノジェクトII 5.0mL	EDTA2Na	室温	当日12時までに検体を提出してください	当日中	免疫染色		検査当日

(7) 遺伝子検査

遺伝子検査については症例ごとに提出条件が異なる為、委託検査項目を含めて記載しています。

他施設より依頼を受ける際は、院内検査に準じて行います。また、検査案内を求められた際は、必要に応じて、該当箇所の抜粋を提示します。

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
免疫関連遺伝子再構成	組織検体 細胞検体 リンパ腫関連 腫瘍細胞割合 5%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5 枚	室温	1 週間	PCR 法 (seminested PCR) LDI パリアント: <i>IgH</i> 、 <i>TCR-γ</i> 遺伝子再構成		5 年
肺癌 EGFR・BRAF 遺伝子検査	組織検体、 細胞検体 腫瘍細胞割合 10%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 3-5 枚	室温	1 週間	Real-time PCR (Cycleave PCR) 法 LDI パリアント: <i>EGFR</i> G719C/S、S768I、T790M、L858R、L861Q Real-time PCR (AS-NEPB-PCR) 法 パリアント: <i>EGFR</i> G719A PCR 法、Direct sequence 法 パリアント: <i>EGFR</i> : Exon 18.19.20.21 (主に Exon 19 欠失、 Exon 20 挿入)、 <i>BRAF</i> Exon 15(主に V600E)		5 年
EGFR 遺伝子検査 (T790M 変異)	組織検体 (ホルマリン適否) 腫瘍細胞割合 10%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5 枚	室温	1 週間	<u>Real time PCR 法</u> <u>コバース EGFR 変異検出キット v2.0</u>	ロシュ・ダ・イグノ スティック	5 年
EGFR 遺伝子解析 v2.0	組織検体 細胞検体 腫瘍細胞割合 10%以上 血漿検体	未染色標本 厚さ 5 μ m 5-10 枚 血液 (EDTA-2K 入り真空 採血量 5 mL)	室温	2 週間	Real time PCR 法 コバース EGFR 変異検出キット v2.0 外部委託 (Real time PCR 法) コバース EGFR 変異検出キット v2.0	ロシュ・ダ・イグノ スティック	5 年

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
大腸癌 RAS・BRAF 遺伝子検査	組織検体 細胞検体 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5-10 μ m 2-5 枚	室温	1-2 週間	Real-time PCR (HRM) 法、 Direct sequence 法 LDT バリエーション: KRAS : Exon 2.3.4、 NRAS : Exon 2.3.4 BRAF : Exon 15		5 年
RAS/BRAF 遺伝子検査	組織検体 大腸がん 腫瘍細胞割合 10%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5 枚	室温	5-10 日	PCR-rSSO 法	MBL	5 年
RAS BEAMing	血液検体 大腸がん	Streck 採血管 全血 10mL	室温	5-7 日	外部委託(BEAMing 法)	シスメックス(SRL)	
BRAF 遺伝子検査	組織検体 固形腫瘍 腫瘍細胞割合 10%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5 枚	室温	2 週間	外部委託(PCR-rSSO 法)	MBL (SRL)	
BRAF 遺伝子検査 (<i>ガブラフェニブ</i>)	組織検体 皮膚メラノーマ 腫瘍細胞割合 30%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5 枚	室温	2 週間	外部委託(PCR-rSSO 法)	シスメックス・ヒュー リヤー (LSI)	
肺癌コンロマイン Dx TT マル チ7 遺伝子 CDx システム	組織検体 非小細胞性肺がん 腫瘍細胞割合 30%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5-10 枚	室温	2 週間	外部委託(次世代シーケンス法)	サーモフィッシュサイ エンティフィック (SRL)	
肺癌コンパクトパネル	組織検体 細胞検体 非小細胞性肺がん 腫瘍細胞割合 5%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5-10 枚 細胞検体 2mL 以下	室温 GM 管 : 冷蔵 沈渣 : -80℃	3 週間	外部委託(次世代シーケンス法)	DNA チップ (SRL)	
ROS1 融合遺伝子検査	組織検体 細胞検体 非小細胞性肺がん 腫瘍細胞割合 30%以上	未染色標本 厚さ 5 μ m 5 枚	室温	1 週間	2ステップ Real-time RT-PCR 法 OncoGuide AmoyDx ROS1 融合遺伝子検出キット使用	シスメックス	5 年

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
AmoyDx 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル	組織検体 非小細胞性肺がん 腫瘍細胞割合 10%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 10 枚	室温	2 週間	Real-time PCR 法 AmoyDx 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル使用+ コンパニオン項目: <i>EGFR</i> , <i>BRAF</i> , <i>ALK</i> , <i>ROS1</i> , <i>MET</i> , <i>KRAS G12C</i> , <i>RET</i> 研究用項目: <i>HER2</i> , <i>KRAS</i> (G12C 以外), <i>NTRK</i>	シスメックス	5 年
甲状腺がん RET 融合 遺伝子・BRAF 遺伝子 検査	組織検体 甲状腺がん 腫瘍細胞割合 30%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 5-10 枚	室温	2 週間	外部委託(次世代シーケンス法)	サモフィニッシュサイ エンティフィック (SRL)	
GIST 関連遺伝子検査	組織検体 細胞検体 GIST 関連 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 2-5 枚	室温	1 週間	Direct sequence 法 LDT パリアント: <i>KIT</i> : Exon 9.11.13.14.17.18 <i>PDGFRA</i> : Exon 12.14.18		5 年
甲状腺関連遺伝子検査	組織検体 細胞診検体 甲状腺がん 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 2-5 枚	室温	1 週間	Real time PCR 法(HRM 解析) LDT Direct sequence 法 パリアント: <i>KRAS</i> Exon 2.3, <i>NRAS</i> Exon 2.3 <i>HRAS</i> Exon 2.3, <i>BRAF</i> Exon 15 <i>PAX8-PPAR γ</i> , <i>RET-PTC1/PTC3</i>		5 年
マイクロサテライト不安定性検査 (リンパ症候群)	組織検体 固形腫瘍 腫瘍細胞割合 50%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 5 枚	室温	2 週間	マルチプレックス PCR-フラグメント解析法 MSI 検査キット (FALCO) 使用	ファルコバイオシステムズ	5 年
マイクロサテライト不安定性検査 (コンパニオン診断薬)	組織検体 固形腫瘍 腫瘍細胞割合 50%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 5 枚	室温	2 週間	マルチプレックス PCR-フラグメント解析法 MSI 検査キット (FALCO) 使用	ファルコバイオシステムズ	5 年
Ewing 肉腫/PNET 関連 遺伝子検査	新鮮 (凍結) 組織 細胞検体	5 mm ³	-80℃凍結	1 週間	RT-PCR 法、Direct sequence 法 LDT パリアント: <i>EWS-Flt1</i> , <i>EWS-ERG</i>		5 年

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
	腫瘍細胞割合 20%以上						
粘液型脂肪肉腫関連 遺伝子検査	新鮮（凍結）組織 細胞検体 腫瘍細胞割合 20%以上	5 mm ³	-80℃凍結	1 週間	RT-PCR 法、Direct sequence 法 LDT バリエーション: <i>TLS-CHOP</i> 、 <i>EWS-CHOP</i>		5 年
滑膜肉腫関連 (SYT-SSX) 遺伝子検査	組織検体 細胞検体 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 -10μm 2-5 枚 新鮮組織 5mm ³	室温 -80℃凍結	1 週間	RT-PCR 法、Direct sequence 法 LDT バリエーション: <i>SYT-SSX.1</i> 、 <i>SYT-SSX.2</i>		5 年
横紋筋肉腫関連 PAX3/7-FKHR 遺伝子 検査	組織検体 細胞検体 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 -10μm 2-5 枚 新鮮組織 5mm ³	室温 -80℃凍結	1 週間	RT-PCR 法、Direct sequence 法 LDT バリエーション: <i>PAX3-FKHR</i> 、 <i>PAX7-FKHR</i>		5 年
子宮内膜間質肉腫関 連遺伝子検査	組織検体 細胞検体 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 -10μm 2-5 枚	室温	1 週間	PCR 法、Real time PCR 法、Direct sequence 法 LDT バリエーション: <i>JAZF-JJAF1</i> 、 <i>YWHA-E-FAM22A/B</i>		5 年
Giant cell tumor 関連遺 伝子検査	組織検体 細胞検体 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 -10μm 2-5 枚	室温	1 週間	PCR 法、Direct sequence 法 LDT バリエーション: <i>H3F3A</i> 、 <i>H3F3B</i>		5 年
HER2 FISH 検査	組織検体 乳がん 胃がん 大腸がん	未染色標本 2 枚 厚さ 乳がん 6 μm 胃・大腸がん 4μm	室温	1 週間	Fluorescence in situ Hybridization (FISH) 法 パステーション®HER-2 DNA プローベキット使用	アボットジャパン	1 ヶ月
ALK 融合遺伝子検査	組織検体 非小細胞性肺がん	未染色標本 厚さ 4 μm 4 枚	室温	2 週間	外部委託(FISH 法)	アボットジャパン (SRL)	
FISH 検査	組織検体	未染色標本 厚さ 5 μm 2 枚	室温	1 週間	Fluorescence in situ Hybridization (FISH) 法	各種 probe アボットジャパン	1 ヶ月

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
						ZytoLigh	
Foundation One (がんゲノムプロファイリング 検査)	組織検体 固形腫瘍 腫瘍細胞割合 30%以上	HE 1 枚 未染色標本 厚さ 5-10 μm 10 枚～必要枚数	室温	3 週間	外部委託(次世代シーケンズ法)	中外製薬 (SRL)	
Foundation One Liquid (がんゲノムプロファイリング 検査)	血液検体 固形腫瘍	血液(EDTA-3K) 末梢全血をセルフ リーDNA 抽出用 採血管 1 本あたり 8.5mL ずつ、計 2 本採取	室温	1-2 週間	外部委託(次世代シーケンズ法)	中外製薬 (SRL)	
Foundation One (トルカブ)	組織検体 固形腫瘍 腫瘍細胞割合 30%以上	HE 1 枚 未染色標本 厚さ 5-10 μm 10 枚～必要枚数	室温	3 週間	外部委託(次世代シーケンズ法)	中外製薬 (SRL)	
NCC オンコパネルシステム (がんゲノムプロファイリング 検査)	組織検体 血液検体 固形腫瘍 腫瘍細胞割合 30%以上	未染色標本 厚さ 5-10 μm 5 枚～必要枚数 血液(EDTA-2K)	冷蔵 室温	3 週間	外部委託(次世代シーケンズ法)	シスメックス (LSI)	
GenMineTOP (がんゲノムプロファイリング システム)	組織検体 血液検体 固形腫瘍	HE 1 枚 未染色標本 厚さ 5-10mm 5 枚～必要枚数 血液(EDTA-2K)	室温	2-3 週間	外部委託(次世代シーケンズ法)	コニカミルタ(LSI)	

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
Guardant 360 CDx (がんゲノムプロファイリング 検査)	血液検体 固形腫瘍	Streck 採血管 1本あたり全血 10mL ずつ、 計2本採取	室温	1-2 週間	外部委託(次世代シーケンス法)	ガーダントヘルス ジャパン(SRL)	
myChoice 診断システム	組織検体 卵巣がん、 <u>乳がん</u> 腫瘍細胞割合 20%以上	HE 1 枚 未染色標本 厚さ 5 μm 8 枚	室温	3-4 週間	外部委託(次世代シーケンス法)	ミリアド・ジェネ イクス(SRL)	
オンコタイプ Dx 乳がん再 発リスク検査	組織検体 乳がん 浸潤径 2mm 以上の腫瘍 で腫瘍細胞割合 5%以上	厚さ 5μm 連続切片 15 枚	室温	15-25 日	外部委託(RT-PCR 法)	エグザクトサイエ ンス(SRL)	
BRACAnalysis	血液検体 固形腫瘍	血液(EDTA-2K) 7.0mL	室温	10-18 日	外部委託(PCR およびサリガーシーケンシング法)	ミリアド・ジェネ イクス(SRL)	
HBOC スクリーニング*	血液検体 HBOC	血液(EDTA-2Na) 2.0mL	冷蔵	21-22 日	外部委託(NGS 法および MLPA 法)	FALCO	
シングルサイト	血液検体	血液(EDTA-2Na) 2.0mL	冷蔵	14-15 日	外部委託(サリガー法または MLPA 法)	FALCO	
MMR スクリーニング*	血液検体	血液(EDTA-2Na) 2.0mL	冷蔵	21-22 日	外部委託(NGS 法および MLPA 法)	FALCO	
HPV 関連遺伝子検査	組織検体 腫瘍細胞割合 20%以上	未染色標本 厚さ 5 μm 3-5 枚	室温	1 週間	PCR 法、Direct sequence 法 LDT パリアント : 37type		5 年

検査項目	検査材料 該当組織型等	検体提出量	保存条件	報告時間	検査方法	試薬メーカー	検査材料 保存期間
COVID-19 (RT-PCR) (SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)核酸増幅検査)	鼻咽頭拭い液	指定培地・スwab 指定容器	冷蔵	当日	Real-time RT-PCR 法 (Takara SRAS-CoV-2 ダイレクト PCR 検出キット使用)	カラバ・イ	2 週間
COVID-19 (RT-PCR) (SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)核酸増幅検査)	唾液 (該当職員)	指定容器	室温	当日	Real-time RT-PCR 法 (Takara SRAS-CoV-2 ダイレクト PCR 検出キット使用)	カラバ・イ	2 週間
個人識別 (STR)	指定組織 指定細胞	未染色標本 厚さ 5 μm 3-5 枚	室温	1 週間	PCR 法 LDT		5 年
CEA mRNA PCR 定性	腹腔洗浄液 腹水 胃がん	指定容器 抗凝固剤使用不可	冷蔵		PCR 法 LDT		5 年
CEA mRNA PCR 定量	腹腔洗浄液 腹水 胃がん	指定容器 抗凝固剤使用不可	冷蔵		Real time PCR 法 LDT	Roche	5 年
バイオバンク事業	手術時組織検体	正常組織 10mm ³ 病変部組織 10mm ³	提出時は 室温		検体採取		

(8) 生理検査

【注意事項】

- ◆ 全ての検査項目共通の受け入れ不可基準：検査に対して同意が得られない場合、検査中に同意が得られなくなった場合、状態の急変時
- ◆ COVID-19 陽性の場合は生理検査室内での検査は出来ません。
- ◆ ベッドでの入室が出来ませんので、ストレッチャーでの入室をお願いします。
- ◆ 予約検査の説明は付き添いの方にする場合があります。
- ◆ 呼吸機能検査では、COVID-19 に関する問診と検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は検査をお断りする場合があります。
- ◆ 全ての検査項目の検査所要時間について：検査内容や患者状態によって所要時間を超える場合があります。

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
※ 心電図	標準 12誘導法	調律	sinus rhythm	10~30分	10分	当日夕方	日本光電
		心拍数	60-100 /分				
		P波	I、IIで正 IIで幅3mm未満、高さ2.5mm未満 V1で高さ2mm未満、Pterminal forceの絶対値が0.04mm/秒未満				
		PQ時間	0.12-0.20s				
		QRS	肢誘導においてQRS電気軸が正常で IIIとaVL以外に異常Q波がなくQRS時間が2.5mm未満であり胸部誘導においてR波の増高(r progression)が正常で、V1以外に異常Q波がなく、QRS電位が正常(SV1+RV5 or V6<35mm, RV5 or V6<26mm)				
		ST	等電位線あるいはPQ部分に一致し、上昇も下降もしていない。ただし、右側胸部誘導や早期再分極例では正常でもST上昇がみられうる				
		T	aVRで陰性であり、I、II、V2-V6で陽性で、高さは12mm未満かつR波の1/10以上である III、aVR、aVF、V1では、T波は陰性でもよい。さらに、若年成人では正常でもV2、V3に陰性				

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
		T波がみられうる				
		QT	$QTc=QT/\sqrt{RR}=0.35\sim0.44$			
		U	陽性でT波の高さの5-50 %			

○注意事項(検査説明・患者準備等)

胸部、手首、足首を出し、ベッド上で仰臥位、安静

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：安静維持が困難な場合
- ・禁忌疾患：なし
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：なし

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
負荷心電図#	マスター2 階段負荷法（ダブルマスター負荷）	陰性	30~40 分	検査後 15 分	当日夕方	日本光電

○注意事項(検査説明・患者準備等)

・患者準備：上半身はできるだけ薄着になってもらい、場合によっては病衣を貸し出す。靴下は脱ぎズボンの裾はまくる。心電図記録時は、胸部および手首、足首を露出、仰臥位で安静

・3分間に高さ9インチ（約23cm）奥行き10インチ（約25cm）幅約24インチ（約61cm）の凸型2の階段を階段昇降をし、その前後に心電図を記録。階段昇降の回数は年齢・性別・体重で決定

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：階段昇降ができない場合
- ・禁忌疾患：うっ血性心不全兆候（呼吸困難、浮腫、腹水など）を示すもの、心筋梗塞急性期・脳出血、脳塞栓などの新しい脳血管障害、急性心筋炎、急性肺塞栓、肺梗塞、急性（熱性）感染症、大動脈解離、血栓性静脈炎、重症の大動脈弁狭窄および閉塞性肥大型心筋症、心室頻拍、多源性、連発性またはR on T 性心室性期外収縮
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：頻脈性上室性不整脈、重症な高血圧症(250/120mmHg 以上)、心室瘤、著しい心拡大、重症心疾患、妊娠中毒症、流産または早産のおそれがある妊娠後期、重症貧血、重症な代謝性疾患(糖尿病、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)、チアノーゼ性心疾患、高度の徐脈性不整脈（洞性徐脈、洞停止、洞房ブロック、心室調律、洞不全症候群）、心室性期外収縮が頻発するとき、重症な肺高血圧症

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
トレッドミル検査#	Mason-Likar 法 (Mason-Likar 変法)	陰性	30 分~1 時間	検査後 15 分	当日夕方	フクダ電子

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・検査前にトイレを済ませておく
- ・上半身は病衣を貸出し、下は運動しやすいズボン（トレーニングパンツなど）または貸し出しの半ズボンを着用してもらう。靴下は脱ぎ、ズボンの裾はまくる。時計等ははずす。胸毛が多い場合は剃毛する場合がある。
- ・心電図を付けながら、トレッドミル上で歩き（走り）ながら、心電図、血圧変化を見る。

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：運動負荷が困難な者
- ・禁忌疾患：同上
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：同上

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
ホルター心電図	CM5・NASA 誘導法	有所見なし 心電図の正常値については心電図の項を参照	1 日		毎週火曜日の午後	フクダ電子

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・腕時計または携帯電話など時間の分かる物を用意する。
- ・筆記具を用意する。
- ・機械装着時は胸部を出しベッド上で仰臥位
- ・機械装着時の入浴、シャワーは不可
- ・電気毛布などの一部使用制限あり

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：長時間心電図計を装着していることが困難な者
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：皮膚に電極が貼れない状態の患者（テープかぶれが特に酷い等）、10 Kg 未満の小児の患者

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
肺活量 (SVC)	気量型	%VC	80%以上	10~20 分	検査後 10 分	なし	チェスト
努力性肺活量 (FVC)		FEV _{1.0} / FVC	70%以上	10~20 分	検査後 10 分		
最大換気量 (MVV)		%MVV	80%以上	10~20 分	検査後 10 分		

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・原則座位で検査
- ・身長・体重の測定・確認
- ・安静状態を保持しておく（直前の喫煙・飲食・運動等を避ける）
- ・身体を締め付けるようなものは緩めて楽に呼吸できる状態にする。

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：理解できない者、気切の患者
- ・禁忌疾患：開放性結核患者、気胸、肺塞栓
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：心血管疾患、脳梗塞、脳出血、もやもや病、動脈瘤などの血管疾患を有する患者、MRSA などの呼吸器感染症の患者、過換気症候群の患者、起立性低血圧症の患者(DLco 検査)

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
機能的残気量（FRC）	閉鎖回路法（He）	%FRC 80～120% %RV 80～120% RV/TLC 20～35%（60 才まで） 35～40%以下（60 才以上）		15～40 分	検査後 10 分	なし	チェスト
肺拡散能（Dlco）	single breath 法	%DLco	80%以上	15～40 分	検査後 10 分	なし	
		%Dlco/V _A	80%以上				

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・原則座位で検査
- ・身長・体重の測定・確認
- ・安静状態を保持しておく

- ・身体を締め付けるようなものは緩めて楽に呼吸できる状態にする。
- ・検査開始前 5 分以上の安静を保ち、少なくとも食後 2 時間以上経過してから検査する。
- ・酸素吸入をおこなっている患者は 5 分以上酸素吸入を中止後に検査を行うのが望ましい。
- ・飲酒は検査 4 時間前から禁酒、喫煙は 24 時間前から禁煙する。

○受け入れ不可基準

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：理解できない者、気切の患者
- ・禁忌疾患：開放性結核患者、気胸、肺塞栓
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：心血管疾患、脳梗塞、脳出血、もやもや病、動脈瘤などの血管疾患を有する患者、MRSA などの呼吸器感染症の患者、過換気症候群の患者、起立性低血圧症の患者(DLco 検査)

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
O ₂ 消費量#		予測値参照	30 分	検査後 10 分	なし	チェスト
BMR #		±15 %以内	30 分	検査後 10 分	なし	

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・早朝空腹時に検査
- ・検査前日は心身の過労をさけ、夜 10 時には就寝のこと。夕食は普通の食事を適度にとり、多量の肉食や飲食は避ける。夕食後は飲水および服薬などは中止
- ・検査当日の朝は、まったく飲食を止め、タバコも吸わない。検査は最後の食事から 12-14 時間後に測定が望ましい。
- ・外来患者は 1 時間前になるべく静かに来院してもらう。病棟患者は車椅子にて検査室へきてもらい、30 分ほど安静にする。
- ・読書、談話はしない。
- ・女性の場合月経時は避ける

○受け入れ不可基準

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：理解できない者、気切の患者
- ・禁忌疾患：開放性結核患者、気胸、肺塞栓
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：心血管疾患、脳梗塞、脳出血、もやもや病、動脈瘤などの血管疾患を有する患者、MRSA などの呼吸器感染症の患者、過換気症候群の患者、起立性低血圧症の患者(DLco 検査)

検査項目	測定方法	基準範囲			検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
心エコー	M モード法	成人	男性	女性	30~40 分	診断後報告	エコー検討会（週1回）後	GEヘルスケア・ジャパン
		Ao 径	28-41 mm	25-36 mm				
		LA 径	23-40 mm	22-41 mm				
		左室拡張末期径	38-55mm	34-51mm				
		左室収縮末期径	20-37 mm	18-33 mm				
		心室中隔厚	7-11 mm	7-11 mm				
		左室後壁厚	7-11 mm	7-11 mm				
		右室径	18-32 mm	17-32 mm				
		駆出率 EF（teichholz）	55-85 %	55-88 %				
	PW 法	E/A	1-2	1-2				
		Dct	160-240ms	160-240ms				
		E/E'(LW 側)	<7.1	<7.1				
	断層法	成人の場合						
		僧房弁前尖レベル	左室拡張末期径	36-52 mm				
			左室収縮末期径	23-39 mm				
		腱索レベル	左室拡張末期径	35-60 mm				
			左室収縮末期径	21-40 mm				
		左房径	27-45 mm					
	大動脈径	22-36 mm						
	modified Simpson 法		男性	女性				

検査項目	測定方法	基準範囲			検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
	(biplane)	左室拡張末期容積	62-170 mL	55-101 mL				
		左室収縮容積	14-76 mL	13-60 mL				
		左房容積	20-57 mL	15-46 mL				

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・左側臥位、仰臥位での検査
- ・検査前にトイレを済ませておく
- ・胸部が出るよう服を脱ぐ、または薄手のシャツなどまくり上げる。

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：幼児等で体動が激しく、危険を伴い、検査続行が困難となった場合

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
下肢静脈エコー	断層法	・深部静脈の血栓を認めない ・血管径の拡張や浮腫を認めない	30~40 分	診断後報告	エコー検討会（週1回）後	GEヘルスケア・ジャパン
下肢静脈エコー	PW 法	大腿静脈での呼吸性変動を認める				

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・仰臥位、座位での検査

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：体動が激しく危険を伴い検査続行が困難な場合
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
頸動脈エコー	断層法	IMT	0.5-1.0 mm	30~50 分	検査後 1 時間	なし	GE ヘルスケア・ジャパン
		総頸動脈径	7.0±0.9 mm				
		内頸動脈径	5.4±1.0 mm				
		椎骨動脈径	3.1±0.6 mm				
	PW 法	総頸動脈					
		最高血流速度	90±20 cm/s				
		平均血流速度	47±12 cm/s				
		拡張末期血流速度	21±7 cm/s				
		内頸動脈					
		最高血流速度	63±20 cm/s				
		平均血流速度	37±13 cm/s				
		拡張末期血流速度	21±7 cm/s				
		椎骨動脈					
		最高血流速度	56±17 cm/s				
		平均血流速度	30±10 cm/s				
		拡張末期血流速度	15±7 cm/s				
		その他					
		拡張末期血流速比（E/D ratio）	<1.3				

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・仰臥位での検査

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：体動が激しく危険を伴い検査続行が困難な場合
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
標準純音聴力検査#	気導聴力測定法		10~20 分	検査後 10 分	なし	リオン
	骨導聴力測定法					

○注意事項(検査説明・患者準備等)

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：理解できない者
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：

検査項目	測定方法	基準範囲			検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
簡易聴力検査（気導のみ）#	気導聴力測定法	健康診断	1000 Hz ≤ 30 dB	4000 Hz ≤ 40 dB	5~10 分	検査後 10 分	なし	リオン
		人間ドック			5~10 分	検査後 10 分		

○注意事項(検査説明・患者準備等)

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：・理解できない者
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
インピーダンス検査#	ティンパノメトリー法		15~30 分	検査後 10 分	なし	リオン
	レフレックス検査		15~30 分	検査後 10 分		

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・検査中は、談話したりせず、安静座位をとる

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：(レフレックス検査) 鼓膜が高度に菲薄化している場合、内耳瘻孔

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
血管伸展性検査#	心臓足首血管指数法	CAVI	～8.9	30～40 分	検査後 15 分	なし	フクダ電子
	足関節上腕血圧比法	ABI	0.91-1.40				

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・検査中は安静状態にし、談話したり手足を動かしたりしない

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：むくみがあったり、出血傾向がある場合、血液のうっ滞が血栓を作る可能性がある場合、うっ滞が末梢循環障害を生じる可能性がある場合、カフの装着部に、炎症、化膿性疾患、外傷等がある場合、点滴中の四肢、人工透析シャントのある四肢、カテーテル等を装着している四肢にはカフは装着できない

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間		報告時間	診断	機器メーカー
脳波	10/20 法	別記します。下記参照。	小児科	1～2 時間	検査後 15-20 分	小児科で診断	日本光電
			小児科以外	1～1.5 時間	検査後 15-20 分	脳外科・神経内科で診断	

○脳波の基準範囲

(1) 覚醒時

① 健康成人

覚醒、安静時の成人（25～65 歳）の脳波所見は以下の通り。

(f) 閉眼状態で左右対称のα波（10 Hz 前後、30～50 μV）が後頭部優位に出現する。

- (イ) 優位律動は、開眼、音、痛み刺激、精神活動により減衰し（ α 減衰、 α ブロッキング）、睡眠期には減少・消失する。
- (ウ) 左右対称部位での α 波の振幅は50%以内、周波数差は1Hz以内である。
- (エ) 低振幅 β 波（10～20 μ V）を前頭部優位に認め、てんかん発作波や徐波などの異常波形を認めない。

② 高齢者

65歳以上の脳波をさすが、45歳以降には側頭部に少量の低振幅 θ 波（特に左）が出現するようになる。高齢者の脳波の特徴は優位律動の周波数が加齢とともに遅くなり、8～9Hzとなる。

③ 小児

3カ月で後頭部に律動性 θ 波が開始する。1～1.5歳で α 波が出現する。5～6歳で α 波と θ 波の量がほぼ等しくなる。8歳では8～9Hzの α 波が優位となる。前頭・側頭部にかなりの θ 波があっても問題はない。15～25歳では、ほぼ成人と同じ9～11Hzの α 波となるが、若年後頭部徐波（posterior slow waves of youth）や、徐 α 異型律動（slow α variants）がみられる。

(2) 睡眠時

① 健常成人

(ア) 第Ⅰ期（入眠期）

α 波の周波数が遅くなって消失し、 θ 波が出現する。第Ⅱ期（軽睡眠期）に移行する時期には頭蓋頂鋭波（vertex sharp transient）が出現する。

(イ) 第Ⅱ期（軽睡眠期）

θ 波と同程度の周波数だが、振幅は増加し、ときどき睡眠紡錘波（sleep spindle）がみられる。

(ウ) 第Ⅲ、Ⅳ期（深睡眠期）

高振幅 δ 波がみられる。第Ⅲ期では2Hz以下で振幅が75 μ V以上の徐波が記録の20～50%を占める。第Ⅳ期では2Hz以下で振幅が75 μ V以上の徐波が記録の50%以上を占める。

(エ) レム睡眠

第Ⅰ期に近い脳波を呈す。

② 高齢者

レム睡眠は加齢に伴い減少し、50歳代では20%、60～70歳代では15%程度となる。

③ 小児

3カ月で紡錘波、5～6カ月で頭蓋頂鋭波が出現する。小児では覚醒～睡眠に至る変化が急で、予測不可能なことがある。睡眠時に異常と間違いやすい生理的リズムが出現するため、覚醒度の変化に気を付けて脳波を読む必要がある。

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・原則ベット上、仰臥位にて検査。
- ・楽な服装で、頭髪は整髪料など使用せず、清潔な状態で
- ・空腹でないことが望ましい
- ・イヤリング、ピアスははずす
- ・服薬が必要な患者は検査開始前に診療科または病棟で服薬のこと
- ・検査前にトイレを済ませておく

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：電極装着ができない患者、電極の装着ができて、起き上がるなど動作が激しい患者、歯を食いしばる、啼泣が激しいなど筋電図の混入が激しい患者
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：以下の疾患の診断または疑いのある患者に過呼吸賦活はしない。

重篤な心疾患、急性期の脳血管障害、重篤な呼吸器疾患、もやもや病

検査項目	測定方法	基準範囲	検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
神経伝導速度#	運動神経伝導検査		項目数による 片手片足で約60-90分	検査後	依頼科で診断	日本光電
	感覚神経伝導検査（逆行法）		両側上肢で30-40分	30分		

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・検査前にトイレを済ませておく
- ・検査部位が見えるよう、厚手の服は脱いでもらう。

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：小児等で検査の協力が得られない場合
- ・禁忌疾患：ペースメーカー植え込み患者、植え込み型除細動器を入れている患者
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：中心静脈など心臓に近いところまでラインが挿入されている患者

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
短潜時体性感覚誘発電位 #	SSEP	上肢		60 分	検査後 30 分	依頼科で診断	日本光電
		EP	7.9±0.6 ms				
		N13	12.7±0.5 ms				
		N20	18.6±0.6 ms				
		CCT	5.9±0.3 ms				
		下肢		60 分			
		各頂点潜時は、下肢の長さや加齢に影響を受けるため、 頂点間潜時と併せ異常の判定を行う。 ・ N20:20 msec 付近に出現する陰性波 ・ P39:39 msec 付近に出現する陽性波					

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・検査前にトイレを済ませておく
- ・検査部位が見えるよう、厚手の服は脱いでもらう。

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：小児等で検査の協力が得られない場合
- ・禁忌疾患：ペースメーカー植え込み患者、植え込み型除細動器を入れている患者
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：中心静脈など心臓に近いところまでラインが挿入されている患者

検査項目	測定方法	基準範囲		検査所要時間	報告時間	診断	機器メーカー
聴性感覚誘発電位 #	ABR	I 波潜時 (80dB)	1.6±0.1 ms	60 分	検査後 30 分	脳外科・神経内科で診断	日本光電
		II 波潜時 (80dB)	2.8±0.1 ms				
		III 波潜時 (80dB)	3.8±0.1 ms				
		IV 波潜時 (80dB)	5.0±0.2 ms				
		V 波潜時 (80dB)	5.8±0.2 ms				

○注意事項(検査説明・患者準備等)

- ・楽な服装で、頭髮は整髪料など使用せず、清潔な状態で・イヤリング、ピアスははずす
- ・検査前にトイレを済ませておく
- ・小児で安静が保てない者などは、睡眠させる・暴れる者などは鎮静等が必要

○受け入れ不可基準

- ・検査できない患者：高度難聴例では脳幹機能の把握を目的とする検査はできない
- ・禁忌疾患：
- ・注意を要する患者または相対性禁忌：

(9) 委託検査

委託検査項目については電子カルテからオーダーが可能です。

電子カルテ上からオーダーできない委託検査項目は、オーダー画面の「別紙の外注あり（結果報告あり）」を選択したラベルとともに外注検査依頼書を提出していただく必要があります。

委託検査（SRL）については、電子カルテのマニュアル類＞臨床検査科にて総合検査案内を参照できます。

ご不明な点は外注検査 SRL（内線 2239）にお問い合わせください。

病理検査の委託検査（PD-L1、HER2(4B5)など）については、組織検査として電子カルテよりオーダーを行ってください。不明な点は病理検査（内線 2248、2249）にお問い合わせください。

